

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 令和 4年 3月 8日

公表: 令和 4年3月31日

事業所名 能力探求スクールジュニアス豊田若草校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1		パーソナルスペースを確保していきたい。
	2	職員の配置数は適切である	4	1		男性スタッフと女性スタッフの比にアンバランスさがあるので調整していきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5		移転したことによって段差等は減っている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	なぜなぜ分析を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		アンケート結果を改善には反映させていないので具体的に改善に向けていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	研修を受けた場合は報告書を共有している。月一で管理者研修、スタッフ勉強会を行う。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2		活動の立案はチームで行うが、パートスタッフ等の意見も聞いていきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	2		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1		課題の設定は休日平日細かく行っていない利用者もいるので、両方の視点から設定したい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	個別活動と集団活動での支援は状況を見て設定している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2		朝礼、昼礼を行っているが、細かい全員の支援が確認できていないので、確認していきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2		翌日になってしまうことがあるので、当日行えるようにしたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4	1		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		施設内のスタッフのみで行っていることが多いので、他の関係施設も呼び行いたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1	新規の学校や教室の変更時は送迎時の受け渡しの確認お行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2		対称者は現在いない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2		必要に応じて行っているが、すべてではないので、すべて児童に対して行っていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2		法人内の施設とは行えているが、他法人の施設ともできるようにしていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	児童発達支援センターの研修を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2		保護者向けに対しても情報発信を行ってきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		現在行えていないので、設立を目指したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	二カ月に一度広報誌の発行、SNSにて毎日の活動を発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	4	1		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2		家族を招待するイベントはあるが、地域住民向けのもの行えていないので、計画したい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	毎月のイベントに防災に関わるものを取り入れている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		虐待防止委員会を設置してマニュアル等発信している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		